

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第104期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	朝日印刷株式会社
【英訳名】	ASAHI PRINTING CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 濱 尚
【本店の所在の場所】	富山県富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル
【電話番号】	076(421)1177(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 広田 敏幸
【最寄りの連絡場所】	富山県富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル
【電話番号】	076(421)1177(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 広田 敏幸
【縦覧に供する場所】	朝日印刷株式会社東京支店 （東京都台東区元浅草四丁目7番11号） 朝日印刷株式会社大阪支店 （大阪市北区中津六丁目3番11号） 朝日印刷株式会社名古屋支店 （名古屋市北区駒止町二丁目51番地の2） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の当社名古屋支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第103期 第1四半期連結 累計期間	第104期 第1四半期連結 累計期間	第103期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	9,062,431	9,584,211	39,331,885
経常利益 (千円)	607,247	486,937	2,250,688
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	409,610	294,470	1,660,742
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	387,197	131,046	973,737
純資産額 (千円)	29,287,781	29,135,938	29,295,517
総資産額 (千円)	55,186,943	56,764,052	56,472,204
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	18.12	13.19	73.35
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	16.85	-	71.55
自己資本比率 (%)	52.5	50.9	51.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は2017年6月29日開催の第101回定時株主総会決議に基づき、株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。当制度の導入に伴い、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式の数を控除しております。

4. 第104期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が進むなど、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国政権の政策動向など不安定な海外要因による株価や為替の下振れ懸念もあり、依然として先行きに不透明感が残っております。

このような中、当社グループは中期経営計画「A D 2021計画」の3年目をむかえ、激化する企業間競争に勝ち残るために、主要事業領域である印刷包材事業に、生産性向上を目的とした経営資源を投入することでモノ作り改革を進め、ぶっちぎりの商品力・技術力・開発力でお客様に最高の価値をお届けできる感動提供企業を目指しております。グループ内連携によるお客様対応力を強化し、更なる信頼関係の構築とグループ全体の企業価値向上に努めてまいりました。

（経営成績）

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ5億21百万円増（前年同期比5.8%増）の95億84百万円となりました。

利益面につきましては、売上高は増加しましたが、人員増による労務費の増加に加え、原材料コストの上昇等に伴う変動費の増加により、当第1四半期連結累計期間における営業利益は3億90百万円（前年同期比4.2%減）、経常利益は4億86百万円（前年同期比19.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億94百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

印刷包材事業

当社グループの主たる事業である印刷包材事業におきましては、市場での企業間競争が一段と厳しさを増しておりますが、当社グループは市場ニーズに即した付加価値の高い製品の提供に努め、お客様・地域に密着した提案型営業活動を展開するとともに、高水準の品質保証体制を追求し、安定した製品の供給に努めてまいりました。

医薬品向け市場におきましては、医療用向け製品・O T C向け製品とも前年同期を上回り、また、化粧品市場におきましても、引き続き好調な市場動向により、前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における印刷包材事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ3億92百万円増（前年同期比4.6%増）の90億22百万円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ20百万円増（前年同期比1.0%増）の19億98百万円となりました。

包装システム販売事業

当セグメントでは、印刷包材と連携したトータル提案による、時流や得意先ニーズにマッチした新たな「包装」の開発を主眼とした包装機械や包装ラインの企画提案・仕入・販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間における包装システム販売事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億8百万円増（前年同期比30.1%増）の4億69百万円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ24百万円増（前年同期比54.4%増）の70百万円となりました。

その他

人材派遣事業

当セグメントでは、当社グループ内のみならず地域企業からの求人を受けて人材の派遣を行っております。

当第1四半期連結累計期間における人材派遣事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ20百万円増（前年同期比28.2%増）の92百万円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ3百万円増（前年同期比20.9%増）の18百万円となりました。

(財政状態)

財政状態を分析するに当たり、その基礎となる当第1四半期連結会計期間末現在の連結貸借対照表は、子会社9社のうち4社は小規模であり、連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため連結の範囲から除外し、連結子会社5社で作成しております。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、567億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加いたしました。

その内、流動資産は、223億77百万円と、前連結会計年度末に比べ7億67百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。また固定資産は、343億86百万円と、前連結会計年度末に比べ10億59百万円増加いたしました。その主な要因は、建設仮勘定の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、276億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億51百万円増加いたしました。

その内、流動負債は、149億29百万円と、前連結会計年度末に比べ6億33百万円増加いたしました。その主な要因は、その他に含まれる未払費用の増加によるものであります。また固定負債は、126億98百万円と、前連結会計年度末に比べ1億82百万円減少いたしました。その主な要因は、リース債務の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は291億35百万円と、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少いたしました。

この結果、当四半期連結会計期間末の自己資本比率は、50.9%となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は7百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	86,000,000
計	86,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,284,929	23,284,929	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	23,284,929	23,284,929	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	23,284,929	-	2,228,753	-	2,295,113

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 929,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,343,000	223,430	-
単元未満株式	普通株式 12,929	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	23,284,929	-	-
総株主の議決権	-	223,430	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄の株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式29,800株(議決権298個)が含まれておりません。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
朝日印刷株式会社	富山県富山市一番町1番1号	929,000	-	929,000	3.99
計	-	929,000	-	929,000	3.99

(注) 「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式29,800株(議決権298個)は含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,669,398	4,451,989
受取手形及び売掛金	2 14,253,206	2 14,251,716
商品及び製品	1,206,562	1,251,388
仕掛品	1,031,819	1,011,514
原材料及び貯蔵品	570,888	612,523
その他	439,722	824,610
貸倒引当金	26,112	25,887
流動資産合計	23,145,486	22,377,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,570,491	8,619,511
機械装置及び運搬具(純額)	4,207,355	4,335,862
土地	7,765,526	7,782,864
リース資産(純額)	4,379,476	4,230,995
建設仮勘定	448,634	1,621,024
その他(純額)	752,636	741,135
有形固定資産合計	26,124,119	27,331,394
無形固定資産		
その他	648,017	671,381
無形固定資産合計	648,017	671,381
投資その他の資産		
投資有価証券	5,612,416	5,328,327
長期貸付金	2,625	5,055
繰延税金資産	149,291	166,670
投資不動産(純額)	362,563	464,227
その他	431,322	422,776
貸倒引当金	3,637	3,637
投資その他の資産合計	6,554,581	6,383,419
固定資産合計	33,326,718	34,386,196
資産合計	56,472,204	56,764,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,793,141	2,814,205
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	1,031,000	1,022,500
リース債務	649,509	607,856
未払金	2,950,137	2,971,932
未払法人税等	421,785	95,543
賞与引当金	535,479	313,800
その他	2,744,842	1,738,773
流動負債合計	14,295,895	14,929,612
固定負債		
長期借入金	6,762,000	6,705,500
リース債務	3,858,139	3,731,000
繰延税金負債	288,487	297,372
役員退職慰労引当金	551,034	518,370
役員株式給付引当金	14,296	13,969
退職給付に係る負債	1,316,931	1,342,608
債務保証損失引当金	12,420	12,420
関係会社事業損失引当金	63,060	63,060
その他	14,422	14,201
固定負債合計	12,880,792	12,698,502
負債合計	27,176,687	27,628,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,228,753	2,228,753
資本剰余金	2,390,361	2,390,361
利益剰余金	23,775,301	23,779,146
自己株式	966,299	966,299
株主資本合計	27,428,117	27,431,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,707,242	1,533,229
退職給付に係る調整累計額	87,123	82,362
その他の包括利益累計額合計	1,620,119	1,450,866
非支配株主持分	247,280	253,109
純資産合計	29,295,517	29,135,938
負債純資産合計	56,472,204	56,764,052

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,062,431	9,584,211
売上原価	7,023,579	7,496,867
売上総利益	2,038,852	2,087,343
販売費及び一般管理費	1,631,019	1,696,697
営業利益	407,832	390,646
営業外収益		
受取利息	166	764
受取配当金	58,859	54,769
受取賃貸料	23,362	26,812
作業くず売却益	49,567	47,272
雑収入	109,473	22,906
営業外収益合計	241,430	152,525
営業外費用		
支払利息	23,539	24,720
支払手数料	1,000	1,000
賃貸収入原価	13,449	15,022
雑損失	4,026	15,491
営業外費用合計	42,015	56,234
経常利益	607,247	486,937
特別利益		
固定資産売却益	739	6,284
投資有価証券売却益	1,204	-
特別利益合計	1,944	6,284
特別損失		
固定資産除売却損	1,472	341
投資有価証券評価損	-	31,236
特別損失合計	1,472	31,578
税金等調整前四半期純利益	607,719	461,644
法人税、住民税及び事業税	131,397	94,649
法人税等調整額	61,466	66,176
法人税等合計	192,863	160,825
四半期純利益	414,856	300,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,245	6,348
親会社株主に帰属する四半期純利益	409,610	294,470

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	414,856	300,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,485	174,532
退職給付に係る調整額	4,826	4,760
その他の包括利益合計	27,658	169,772
四半期包括利益	387,197	131,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,753	125,217
非支配株主に係る四半期包括利益	4,443	5,828

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 債権流動化に伴う買戻限度額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
	124,110千円	90,677千円

2. 四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権

四半期連結会計期間末日満期手形及び四半期連結会計期間末日電子記録債権の会計処理については、手形交換日及び振込期日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び四半期連結会計期間末日電子記録債権が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	209,961千円	154,584千円
電子記録債権	200,716	208,640
支払手形	198,624	372,106
設備関係支払手形	959	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
減価償却費	556,380千円	613,037千円

(株主資本等関係)

1. 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	361,950	16	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注) 2018年6月28日定時株主総会の決議による配当金の総額には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式に対する配当金483千円が含まれております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	290,625	13	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(注) 2019年6月27日定時株主総会の決議による配当金の総額には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式に対する配当金387千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷包材 事業	包装シス テム販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,629,910	360,597	8,990,507	71,923	9,062,431	-	9,062,431
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	7,517	7,517	21,836	29,353	29,353	-
計	8,629,910	368,115	8,998,025	93,759	9,091,784	29,353	9,062,431
セグメント利益	1,977,799	45,835	2,023,634	15,217	2,038,852	-	2,038,852

(注)1. その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材派遣事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

4. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,023,634
「その他」の区分の利益	15,217
調整額(セグメント間取引消去)	-
販売費及び一般管理費	1,631,019
四半期連結損益計算書の営業利益	407,832

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷包材 事業	包装シス テム販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,022,890	469,125	9,492,016	92,195	9,584,211	-	9,584,211
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	204	204	18,470	18,675	18,675	-
計	9,022,890	469,329	9,492,220	110,666	9,602,886	18,675	9,584,211
セグメント利益	1,998,182	70,765	2,068,948	18,395	2,087,343	-	2,087,343

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材派遣事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

4. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,068,948
「その他」の区分の利益	18,395
調整額（セグメント間取引消去）	-
販売費及び一般管理費	1,696,697
四半期連結損益計算書の営業利益	390,646

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	18円12銭	13円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	409,610	294,470
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	409,610	294,470
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,601	22,326
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16円85銭	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	365	-
(うち支払利息(税額相当額控除後) (千円))	(365)	(-)
普通株式増加数(千株)	1,736	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

- (注) 1. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前第1四半期連結累計期間30千株、当第1四半期連結累計期間29千株)。
2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2019年8月8日開催の取締役会において、Harleigh (Malaysia) Sdn.Bhd.及びShin-Nippon Industries Sdn.Bhd.の一部株式を取得し子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称

事業の内容

Harleigh (Malaysia) Sdn.Bhd.

各種包装資材(紙、プラスチック等)の販売

Shin-Nippon Industries Sdn.Bhd.

各種包装資材(紙、プラスチック等)の製造

企業結合を行った主な理由

Harleigh (Malaysia) Sdn.Bhd.及びShin-Nippon Industries Sdn.Bhd.はマレーシアに製造拠点を有し、マレーシアの医薬品市場においてパイオニア的な存在として一定の地位を確立しており、マレーシア国内外において、強固な顧客基盤を築いております。

今後の海外展開に向けて、ASEANを中心とした販売・製造拠点の確立を図る目的であります。

企業結合日

2019年9月30日(予定)

企業結合の法的形式

株式取得

結合後企業の名称

変更ありません。

取得する議決権比率

各々65.0%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

Harleigh (Malaysia) Sdn.Bhd.	現金	1,359,815USD
------------------------------	----	--------------

Shin-Nippon Industries Sdn.Bhd.	現金	2,199,910USD
---------------------------------	----	--------------

取得原価合計	現金	3,559,725USD
--------	----	--------------

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

朝日印刷株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 櫻井 均 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 健一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている朝日印刷株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、朝日印刷株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。